



PRESS RELEASE

2025 年 8 月 5 日

【ブランド USA】

**建築・アート・文化をテーマにした世界的イベントが、
今秋から 2026 年にかけて全米各地で開催
世界中のアートファンが注目する新施設も各地でオープン**

活気と多様性に溢れるアメリカ合衆国は、アートやカルチャーが人々の暮らしの中に深く根づいている国でもあります。アメリカ合衆国の公式観光促進団体、ブランド USA が 15 の国と地域にて実施した最新の消費者調査では、海外からの訪米旅行者の 7 割以上が「アメリカは、豊かな歴史や世界水準のミュージアム、そして個性あふれる街並みや地域を備えた、文化的に魅力ある旅行先である」と回答しています。ブランド USA では、定期的に全米に広がる多彩なアートと文化の魅力を積極的に発信していますが、このたび一般消費者向け公式ポータルサイト「AmericaTheBeautiful.com」上にて、この秋から来年にかけて開催される日本人旅行者におすすめのアートイベントや注目の新施設を厳選し、その概要を公開しました。

建築やパブリックアートに焦点を当てた大型アート展が全米各地で開催

本年秋以降から来年にかけ、アメリカ各地で建築やパブリックアートをテーマにした大規模なアートイベントの開催が相次いで予定されています。また、地域と芸術をつなぐ新設の文化施設の開業も控えています。今後注目のイベントや新施設をご紹介します。

「アンタイトルド・アート」マイアミ発の現代アートフェアがヒューストンで初開催

会場: ジョージ・R・ブラウン・コンベンションセンター (テキサス州ヒューストン)

フロリダ州マイアミ・ビーチでスタートした現代アートフェア「アンタイトルド・アート」が、来月 19 日から 21 日にかけてテキサス州ヒューストンで初開催されます。先鋭的な現代アート作品や実験的なギャラリー、没入型インスタレーションが一堂に会し、急成長を遂げるテキサスのアートシーンにおいて開催される、注目のアートイベントとして期待が高まっています。

「シカゴ・アーキテクチャー・ビエンナーレ」北米最大級の建築展がシカゴで開催

会場: シカゴ市内各所 (イリノイ州シカゴ)

イリノイ州シカゴでは、来月 19 日から来年 2 月 28 日まで、北米最大級の建築展「シカゴ・アーキテクチャー・ビエンナーレ」が開催されます。展覧会のほか、トークイベント、パフォーマンス、映画上映など多彩なプログラムが予定されており、すべて無料で一般公開されます。期間中

は、フランク・ロイド・ライトが設計した、屋根を低く抑えて建物を地面に水平に広げた「プレーリースタイル」の住宅群を巡ったり、摩天楼を望むシカゴ川の建築クルーズを楽しんだり、街全体が建築鑑賞の舞台となる“建築の街”シカゴならではの滞在を満喫できます。

「トロールズ:ア・フィールド・スタディ」デンマーク発の屋外彫刻展がアメリカ初開催

会場:ノースカロライナ・アーボリータム(ノースカロライナ州アシュビル)

本年 11 月 15 日から来年 2 月 17 日まで、ノースカロライナ州アシュビルの植物園「ノースカロライナ・アーボリータム」にて、デンマークのアーティスト、トーマス・ダンボ氏によるユニークな屋外彫刻展「トロールズ:ア・フィールド・スタディ」がアメリカで初開催されます。本展に登場する“トロール”とは、北欧の民間伝承に登場する、山や森に棲むとされる空想上の巨人のような妖精の一種です。園内の庭園やトレイルには、廃材を用いて制作された高さ約 3 メートルのトロール 12 体が点在し、それぞれが「人間社会を観察する」という遊び心あふれるテーマを持っています。自然との共生や創造性を体感できる本展は、家族連れにもおすすめのアート体験です。

「アート・バーゼル・マイアミ・ビーチ」世界有数の現代アートフェアが史上最大規模で開催

会場:マイアミ・ビーチ・コンベンションセンター(フロリダ州マイアミ)

世界屈指の現代アートフェア「アート・バーゼル・マイアミ・ビーチ」が本年 12 月 5 日～7 日、マイアミを舞台に開催されます。会場となるマイアミ・ビーチ・コンベンションセンターには、約 50 の国と地域から 250 以上のトップギャラリーが集結し、過去最大規模となる見込みです。国際的なアートコレクターや業界関係者が多数訪れるこのフェアは、世界中のアートファンから毎年高い注目を集めており、マイアミの街全体がアートの熱気に包まれる 3 日間となります。

「ピーナッツ 75 周年記念展」スヌーピーを生んだ名作コミックの魅力に触れる特別展示が開催

会場:チャールズ・M・シュルツ美術館(カリフォルニア州サンタローザ)

カリフォルニア州サンタローザにあるチャールズ・M・シュルツ美術館では、来月 20 日から来年 3 月 11 日まで、世界中で愛される名作コミック「ピーナッツ」の誕生 75 周年を記念した特別展が開催されます。スヌーピーやチャーリー・ブラウンなど、個性豊かなキャラクターの誕生秘話に加え、作者チャールズ・シュルツのユーモアがどのように生まれ、どのように進化していったのかをたどる内容です。世代を超えて親しまれてきた「ピーナッツ」の魅力を、楽しく学べる展示となっています。

「ポートランド美術館」数年にわたる大規模改修を経て、本年末にリニューアルオープン

会場:ポートランド美術館(オレゴン州ポートランド)

オレゴン州ポートランドのポートランド美術館は、約 167 億円を投じた大規模改修プロジェクトを経て、本年 11 月 20 日にリニューアルオープンします。約 9,000 平方メートルにおよぶ新たな展示スペースのほか、歴史的建造物をつなぐガラス張りのパビリオンや、ブラック・アートに特化した新ギャラリーも開設予定です。地域文化の新たな拠点として、注目が集まっています。

「ホイットニー・ビエンナーレ」歴史ある現代アートの祭典がニューヨークで開催

会場:ホイットニー美術館(ニューヨーク州ニューヨーク市)

アメリカを代表する現代美術の祭典「ホイットニー・ビエンナーレ」が来年 3 月に、ニューヨークのホイットニー美術館にて開催されます。第 82 回目となる本展は、絵画、彫刻、映像、インスタレーションなど幅広い表現形式による作品が一堂に会し、アメリカ現代アートの“いま”を体感できる内容となる予定です

「フォトグラフィック・メモリー」ポートレート写真の進化を辿る特別展が開催

会場:ナショナル・ポートレート・ギャラリー(ワシントン D.C.)

ナショナル・ポートレート・ギャラリーでは来年 5 月 15 日～2027 年 2 月 28 日まで、写真愛好家必見の特別展「フォトグラフィック・メモリー:ナショナル・ポートレート・ギャラリーにおける 50 年の写真表現」が開催されます。ダゲレオタイプ(銀板写真)に始まる黎明期から現代に至るまで、ポートレート写真の進化をたどる構成で、100 点以上の作品が展示される予定です。

「ルーカス・ミュージアム・オブ・ナラティブ・アート」巨匠ジョージ・ルーカス構想による話題の新施設が来年開業

会場:エキスポジション・パーク(カリフォルニア州ロサンゼルス)

映画監督ジョージ・ルーカス氏の構想によって誕生する話題の新施設「ルーカス・ミュージアム・オブ・ナラティブ・アート」が、ロサンゼルスエキスポジション・パークにて来年に開業予定です。約 4 万 4,500 平方メートルの敷地面積の広大なキャンパスに建設される本ミュージアムでは、「物語性」に着目し、映画、イラスト、絵画、写真など多様なアート作品が展示されます。作品が語るストーリーや世界観を通じて、鑑賞者の想像力を刺激する新たな芸術体験として、国内外から注目を集めています。

「ロサンゼルスカウンティ美術館(LACMA)」の新施設が来春開業

会場:ロサンゼルスカウンティ美術館(カリフォルニア州ロサンゼルス)

カリフォルニア州ロサンゼルスにあるロサンゼルスカウンティ美術館(LACMA)では、施設全体の再整備プロジェクトの中核を担う新たな展示棟「デヴィッド・ゲフィン・ギャラリー」が来年 4 月に、開業予定です。ウィルシャー・ブルバードをまたいで建設された同施設は、ロサンゼルの芸術文化を象徴する新たなランドマークとして誕生します。

「フリーズ・ロサンゼルス」世界的アートフェアが空港を舞台に開催

会場:サンタモニカ空港(カリフォルニア州ロサンゼルス)

世界的な現代アートフェア「フリーズ・ロサンゼルス」が来年 2 月 26 日から 3 月 1 日まで、サンタモニカ空港を舞台に開催されます。ロンドン、ニューヨーク、ソウル、ロサンゼルの 4 都市で展開される「フリーズ」シリーズの一環として、国際的に著名なギャラリーやアーティストが一堂に会する、現代アート界屈指のイベントです。ロサンゼルの活気あふれる文化シーンと世界

の最新アート潮流が交差する本フェアは、今年も多くの注目を集めることが予想されています。

「センター・フォー・アーツ&イノベーション」フロリダに新たなアート&イノベーション拠点誕生

会場:センター・フォー・アーツ&イノベーション(フロリダ州ボカトン)

フロリダ州ボカトンに来年、新たな文化施設「センター・フォー・アーツ&イノベーション」が開業の予定です。最先端の舞台劇場やギャラリー、スタジオ、教育スペースなどを備えた本施設は、アートとテクノロジーの融合によって創造性を育み、地域社会とのつながりや次世代育成の拠点となることを目指しています。ボカトンにおける新たな文化的ランドマークとして注目を集めています。

「ヒップホップ・ミュージアム」ブロンクスに誕生、カルチャーの起源と影響をたどる新拠点

会場:ブロンクス・ポイント(ニューヨーク州ニューヨーク市)

ニューヨーク・ブロンクスの再開発地区「ブロンクス・ポイント」に来年、新たな文化施設「ヒップホップ・ミュージアム」が誕生します。延床面積約 5,100 平方メートルを誇る本ミュージアムは、1970 年代にブロンクスで生まれたヒップホップの起源に迫るとともに、そのカルチャーが音楽、ファッション、アート、社会運動に与えてきた影響を多角的に紹介します。

アメリカ各地では一年を通じてアートや建築、カルチャーに親しめる多彩なスポットを楽しむことができます。ロサンゼルスはゲティ・センターやゲティ・ヴィラでは、美術と庭園が一体となった空間で欧米の名画を堪能できます。ニューヨークでは、メトロポリタン美術館や MoMA、リニューアルオープンしたフリック・コレクションなどが、世界屈指のコレクションを通年で公開しています。ダラスのダウンタウンに広がるダラス・アーツ・ディストリクトには、美術館や彫刻センター、劇場が集まり、文化の発信地として賑わっています。また、デンバーのリバーノース・アート地区(RiNo)では、ストリートアートやクラフトビールが産業的な街並みと融合し、独自の文化を形成しています。

このほか、ロサンゼルスはアーツ・ディストリクトやミネアポリスのアート地区では、ギャラリーやオープンスタジオがアーティストと来訪者をつなぎ、ボルチモア、ルイビル、ノックスビルなどでも地域とアートの結びつきが活性化しています。また、セントルイスのゲートウェイ・アーチやサンフランシスコのゴールデンゲート・ブリッジ、ワシントン D.C.のナショナル・モールなど、アメリカを象徴する建築名所でも、デザインと歴史の魅力を体感することができます。

さらにカリフォルニア州サンタバーバラでは、スパニッシュコロニアル様式をベースに、大胆な色使いや彫刻的なフォルムを取り入れた建築家ジェフ・シェルトンの作品群を巡る、セルフガイドの建築散策も人気を集めています。

伝統と地域の魅力に触れる、没入型カルチャーイベント&施設が続々誕生

この秋から来年にかけて、アメリカ各地ではその土地ならではの文化や伝統を深く知ることが

できるイベントが数多く開催されます。地域の歴史や芸術を体感できるこうした機会は、アメリカの多様な魅力をより深く味わえる貴重な文化体験として注目を集めています。

「ナショナル・センター・フォー・シビル&ヒューマン・ライツ」公民権運動の歴史を伝えるアトランタの代表的施設が今秋リニューアルオープン

会場:ナショナル・センター・フォー・シビル&ヒューマン・ライツ(ジョージア州アトランタ)

ジョージア州アトランタに位置する「ナショナル・センター・フォー・シビル&ヒューマン・ライツ」が本年秋、2つの新ウィングを加えてリニューアルオープンします。インタラクティブな展示に加え、教室やイベントスペースを備えた新エリアでは、公民権運動や人権への理解をより深める体験を提供します。

「チェロキー・インディアン・フェア」先住民族チェロキーの伝統文化を祝う祭典を開催

会場:チェロキー・フェアグラウンズ(ノースカロライナ州クアラ・バウンダリー)

ノースカロライナ州のクアラ・バウンダリーにて、本年10月7日から11日まで「チェロキー・インディアン・フェア」が開催されます。先住民族チェロキーの豊かな伝統文化を讃えるこの祭典では、ストーリーテリングや工芸、音楽、ダンスなどを通じて、地域の歴史や精神への理解を深めることができます。

「ディア・デ・ロス・ムエルトス(死者の日)」ハリウッドで体験するメキシコの伝統祝祭

会場:「ハリウッド・フォーエバー墓地」(カリフォルニア州ロサンゼルス)

メキシコの伝統行事「死者の日(ディア・デ・ロス・ムエルトス)」は、毎年10月下旬から11月初旬にかけて、アメリカ各地で広く祝われています。なかでも、映画の都ロサンゼルスに位置する「ハリウッド・フォーエバー墓地」は、ハリウッドの黎明期を支えた映画関係者や往年のスターが眠る場所として知られ、毎年11月2日の直前の土曜日に、全米有数の大規模な祭典が開催されます。本年は11月1日に実施予定で、色鮮やかな祭壇「オフレンダ」やアート展示、音楽、パフォーマンスが繰り広げられる一夜限りの特別な文化イベントとして、訪れる人々に深い感動と異文化体験を提供します。

「ディア・デ・ロス・ムエルトス・フェスティバル」全米有数のメキシコ文化の祭典がテキサスで開催

会場:テキサス州コーパスクリスティ

テキサス州南部の街コーパスクリスティの中心街にて、本年11月1日、「ディア・デ・ロス・ムエルトス・フェスティバル」が開催されます。ラテン音楽のライブ演奏や民族舞踊「folklorico」、亡き人をしのぶ祭壇「オフレンダ」の展示に加え、85以上のアートベンダーが並ぶマーケットも登場します。地域に根づいたメキシコ文化を体感できる全米有数の祝祭として注目されています。

「マルディグラ 2026」アメリカ南部を象徴する華やかな祝祭が来年も開催

会場：ルイジアナ州ニューオーリンズ／アラバマ州モービルほか

アメリカ南部を象徴する祝祭「マルディグラ」が来年 1 月 6 日から 2 月 17 日まで、開催されます。イベントの最高潮を迎えるのは、キリスト教の断食期間「四旬節(レント)」の直前にあたる 2 月 17 日(火)です。この日は「ファットチューズデイ」とも呼ばれ、フランス語で「マルディグラ」と表現されます。断食に入る前にごちそうを楽しみ、盛大に祝う日とされています。マルディグラといえばルイジアナ州ニューオーリンズが有名ですが、アラバマ州モービルもアメリカで最も古いマルディグラの開催地として知られています。来年 2 月には、両都市において地域色豊かなパレードや各種イベントが開催される予定です。音楽や衣装、華やかな装飾を通じて、南部独自の文化と伝統を存分に体感できます。

「カウボーイ・クチュール」カウボーイ・ファッションの特別展がインディアナで開催

会場：アイテルジョーグミュージアム(インディアナ州インディアナポリス)

インディアナ州インディアナポリスにあるアイテルジョーグミュージアムでは、来年 3 月 26 日から 8 月 2 日まで、同州出身のファッションデザイナー、ジェリー・リー・アトウッド氏に焦点を当てた特別展「カウボーイ・クチュール」が開催されます。「カウボーイ・クチュール」とは、カウボーイ・ファッションに装飾芸術の要素を加えたスタイルで、きらめくラインストーンや刺繍が特徴の“ヌーディー・スーツ”などが代表例です。アトウッド氏は、ラッパーや音楽プロデューサー、アスリートといった幅広い分野の著名人に衣装を提供してきたことで知られ、現代アメリカン・ファッション界において注目を集める存在となっています。また、会場となるアイテルジョーグミュージアムは、全米最大級のネイティブ・アメリカンおよび西部美術のコレクションを誇り、豊かなアメリカ文化を体感できる施設として高い評価を得ています。

「ネイティブアメリカンファッションの聖地」サンタフェで、注目のファッションイベントが開催

会場：サンタフェ・レイルヤード・アート地区、サンタフェ・コミュニティ・コンベンション・センター(ニューメキシコ州サンタフェ)

ニューメキシコ州サンタフェは、「ネイティブアメリカンファッションの聖地」として、いま世界から注目を集めている都市です。来年 5 月には、先住民族デザイナーによるファッションと文化を紹介する 2 つの大きなイベントが開催される予定です。「ネイティブ・ファッション・ウィーク・サンタフェ」は、サンタフェ・レイルヤード・アート地区を会場に、ランウェイショーやストーリーテリングを通じて、伝統と現代性を融合させた先住民族ファッションを紹介します。

もう一方の「SWAIA ネイティブ・ファッション・ウィーク」は、サンタフェ・コミュニティ・コンベンション・センターで開催され、ランウェイショーに加えて、ポップアップショップやパネルディスカッションなどを通じて、先住民族デザイナーの創造力や文化の背景を国内外に向けて発信します。

両イベントでは、ファッションだけでなく、展示やトークセッションといったさまざまな企画が行われ、ネイティブ・アメリカンの文化の奥深さと新しい表現を体感できます。

このほかにも、アメリカ各地では先住民族の文化や多様な芸術に触れられる機会が数多くあります。コロラド州デンバーのデンバー美術館では、先住民族アートに 100 年にわたって光を当ててきた歩みを称える展示が通年で行われています。代表的な企画展「サステインド！」では、家族やファッション、儀式といったテーマに沿った作品が紹介されており、ケント・モンクマン氏やアンドレア・カールソン氏など、現代の先住民族アーティストによる個展も継続的に開催されています。

テキサス州エルパソのダウントウン・アーツ・ディストリクトでは、歩道を彩るチョークアートの祭典「チョーク・ザ・ブロック」が毎年開催され、国境地帯ならではの文化的表現が街に広がります。また、同州サンアントニオでは、毎年 4 月に「フィエスタ・サンアントニオ」が開催され、パレードや音楽、ダンスなど多彩な文化イベントを通じて、サンアントニオの多様な文化遺産を祝います。10 日間にわたり街全体が祝祭ムードに包まれ、多くの来場者でにぎわいます。

カリフォルニア州サンディエゴの「バルボア・パーク」は、全米最大の都市型カルチャーパークとして知られています。スパニッシュコロニアル様式の建築に囲まれた園内には 17 以上の博物館や庭園が点在しており、芸術、歴史、自然が一体となった文化体験を、一年を通じて楽しめます。

話題作から地域密着型まで、全米各地で多彩な演劇・パフォーミングアーツが上演

アメリカ各地では、ブロードウェイの最新作をはじめとする大規模な舞台公演から、地域に根ざしたシアターによる作品まで、魅力あふれる演劇・パフォーミングアーツの上演が続々と予定されています。土地ごとの特色を生かした舞台が、観る人に新鮮な魅力を届けます。

「ロッキー・ホラー・ショー」など話題作が本年秋から来年にかけて上演、ブロードウェイ 2025～2026 年シーズン

会場: Studio 54、リンカーン・センター・シアターほか(ニューヨーク州ニューヨーク)

ニューヨークのブロードウェイでは、2025～2026 年シーズンに名作の再演や注目の新作が続々と登場します。「ロッキー・ホラー・ショー」や「ラグタイム」などのビッグタイトルがリバイバル上演されるほか、ピューリッツァー賞の最終候補作となった「ベッキー・ショー」などのプレミア作品も予定されています。

グラミー賞受賞のアルバムと高く評価された同名のドキュメンタリーに着想を得た、1950 年代のキューバを舞台にしたブロードウェイ・ミュージカル「ブエナ・ビスタ・ソシアル・クラブ」が、上演中です。迫力あるアフロキューバン・バンドの演奏とともに展開する本作は、来年 1 月 4 日までのロングランが予定されており、観客を思わず席で踊らせるような熱気あふれる舞台となっています。

さらに 2026 年には、カントリー界のスーパースター、ドリー・パートンの半生を描いた新作ミュージ

ジカル「ハロー、アイム・ドリー」がブロードウェイで初演される予定です。代表曲に加えて本人による新曲も披露され、スモーキー・マウンテンから世界的スターへと成長した彼女の軌跡を描く舞台として期待が高まっています。

中西部有数の演劇都市、シカゴとミネアポリスで話題作が今季上演

会場：シカゴ・シェイクスピア・シアターほか（イリノイ州シカゴ）、ガスリー・シアター（ミネソタ州ミネアポリス）

中西部を代表する演劇都市として知られるシカゴでは、シカゴ・シェイクスピア・シアターを中心に、古典から現代劇まで幅広い作品の上演が続いています。2025～2026年シーズンには、「ハムレット」や「ハムネット」など、シェイクスピア作品を中心とした舞台が予定されており、なかでも英国の王立劇団ロイヤル・シェイクスピア・カンパニーによる「ハムネット」は、アメリカ初公演として大きな注目を集めています。一方、ミネソタ州ミネアポリスのガスリー・シアターでは、同シーズンに「マクベス」「若草物語」「プライベート・ライヴズ」「カム・フロム・アウェイ」など全 8 作品の上演が予定されています。実力派劇団による多彩な舞台が、地元の観客はもちろん、全米の演劇ファンからも高い関心を集めています。

「オレゴン・シェイクスピア・フェスティバル」山あいの絶景を舞台に、古典と現代劇が共演

会場：アレン・エリザベサン・シアターほか（オレゴン州アシュランド）

オレゴン州南部の山あいに位置するアシュランドでは、毎年 4 月から 12 月にかけて「オレゴン・シェイクスピア・フェスティバル」が開催されています。シェイクスピア作品をはじめとする古典劇に加え、現代劇やミュージカルもラインアップに加わり、幅広い演目が楽しめるのが特徴です。自然豊かな野外劇場を含む会場では、全米各地から訪れる演劇ファンが熱い視線を注ぎ、質の高い舞台芸術が評価を集めています。

「ユタ・シェイクスピア・フェスティバル」ユタの小さな町で上演される本格舞台

会場：サザン・ユタ大学（ユタ州シーダーシティ）

ユタ州南部の町シーダーシティでは、毎年 6 月から 10 月にかけて「ユタ・シェイクスピア・フェスティバル」が開催されています。シェイクスピア作品を中心とした質の高い受賞作が上演される本フェスティバルは、小規模劇場ならではの臨場感や没入感を味わえる演劇体験として多くの支持を集めています。自然に囲まれた大学キャンパスを舞台に、観客は物語の世界に深く引き込まれるひとときを楽しめます。

このほか、カリフォルニア州ロサンゼルスでは、野外音楽堂「ハリウッド・ボウル」が夏の風物詩として広く親しまれています。星空の下で音楽や映画、演劇を楽しめるロサンゼルス・フィルハーモニックの夏季シリーズは、毎年多くの観客に支持されており、高い評価を得ています。また、ロサンゼルスの舞台芸術を牽引する存在である「センター・シアター・グループ」では、アーモンソン劇場、マーク・テーパー・フォーラム、カーク・ダグラス・シアターという 3 つの象徴的な劇場を拠点に、新作から話題作まで多彩な作品を上演しています。多様な文化と創造性が交

差するロサンゼルスならではの舞台芸術を体感できる貴重な場となっています。

米各地で、音楽・デザイン・食を祝う多彩なフェスティバルが開催

アメリカ各地では、それぞれの地域の文化や伝統に根ざした年中行事に加え、音楽や食、デザインをテーマにした多彩なフェスティバルが開催され、訪れる旅行者を魅了しています。ここでは、今後開催が予定されている注目のイベントをご紹介します。

「サウスバウンドフードフェスティバル」南部料理と文化を祝う 10 日間の祭典

会場: マーケット・アット・ペーパープレイスほか(アラバマ州バーミングハム)

アラバマ州バーミングハムでは本年 9 月 19 日までの 10 日間、南部料理の魅力を紹介する祭典「サウスバウンド」が開催されます。南部の伝統的な味わいとその革新を祝うこのイベントでは、市内のレストランを中心に、試食会やシェフによる実演、ライブ音楽など多彩なプログラムが行われます。著名シェフから気鋭の若手料理人までが集い、料理に込められたストーリーや地域に根ざしたコミュニティ、そして南部ならではのホスピタリティ精神を体感できるフェスティバルとして、全米から注目を集めています。

「モダニズム・ウィーク」アメリカ発祥のアート、ミッドセンチュリーを祝うデザイン・フェスティバル

会場: パームスプリングス・コンベンションセンターほか(カリフォルニア州パームスプリングス)

カリフォルニア州パームスプリングスでは、20 世紀中頃に隆盛を極めた「ミッドセンチュリーモダニズム」の建築、インテリア、カルチャーを祝うイベント「モダニズム・ウィーク」が、毎年春と秋の年 2 回開催されています。次回の秋開催は本年 10 月 16 日から 19 日まで、そして本祭典となる春のイベントは来年 2 月 12 日から 22 日までの開催が予定されており、約 10 日間にわたり多彩なプログラムが展開されます。会期中は、ミッドセンチュリーデザインの家具や現代アートに囲まれた歴史的建築をめぐるツアーをはじめ、建築家や専門家によるトークイベント、ポップアップ展示、映画上映、ナイトパーティーなどが行われます。

「インターナショナル・バルーン・フィエスタ」空を彩る熱気球の祭典

会場: バルーン・フィエスタ・パーク(ニューメキシコ州アルバカーキ)

ニューメキシコ州アルバカーキでは本年 10 月 4 日から 12 日までの 9 日間、世界最大級の熱気球イベント「インターナショナル・バルーン・フィエスタ」が開催されます。バルーン・フィエスタ・パークの広大な空を背景に、世界各国から集まる約 500 機の熱気球が夜明けとともに一斉に浮かび上がり、その光景はまさに壮観です。日中は熱気球の競技飛行や展示が行われ、夜には光り輝く熱気球が幻想的な雰囲気演出する「ナイトグロー」や花火も楽しめます。早朝から夜まで 1 日中楽しめる本イベントは、家族連れにも高い人気を誇り、毎年多くの来場者でにぎわいます。

「モナーク・フェスティバル」蝶とアート、自然を祝う自然文化の祝典

会場: レイク・ノコミス・コミュニティ・センター周辺(ミネソタ州ミネアポリス)

ミネソタ州ミネアポリス近郊のレイク・ノコミス・コミュニティ・センター周辺では、来月 6 日に「モナーク・フェスティバル」が開催されます。蝶と文化を祝うイベントとしては全米有数の規模と歴史を誇る本フェスティバルは、毎年 9 月に開催されており、地域に深く根づいた人気イベントとなっています。モナーク蝶は、毎年秋に北米からメキシコへと数千キロを移動する「渡り」で知られ、自然の驚異とされる存在です。このフェスティバルでは、その生態や保護の大切さを伝えるワークショップをはじめ、アート展示、地域コミュニティによる催し、音楽・ダンスのパフォーマンス、子ども向けのクラフト体験など、多彩なプログラムが予定されています。

「シェイキー・ニーズ・ミュージック・フェスティバル」パンクとロックの都市型音楽フェスティバル
会場:ピードモント・パークほか(ジョージア州アトランタ)

ジョージア州アトランタのピードモント・パークおよびその周辺では来月 9 月 19 日から 21 日にわたり、大型音楽フェスティバル「シェイキー・ニーズ・ミュージック・フェスティバル」が開催されます。ブリンク 182、デフトーンズ、マイ・ケミカル・ロマンスなど、世界的に人気のロックバンドが出演を予定しており、パンクやオルタナティブロックの熱気を存分に体感できるイベントとして注目を集めています。

「ジャズ&ヘリテージ・フェスティバル」ジャズと地元の食文化が交差する春の祝典会場:フェアグラウンドおよびニューオーリンズ市内各所(ルイジアナ州ニューオーリンズ)

ルイジアナ州ニューオーリンズでは来年 4 月 23 日から 5 月 3 日までの 11 日間にわたり、「ジャズ&ヘリテージ・フェスティバル」が開催されます。期間中は市内のフェアグラウンドを中心に、街全体がジャズと地域文化の熱気に包まれ、春のニューオーリンズを象徴する祝祭ムードが広がります。会場では、ジャズやブラスバンドの生演奏をはじめ、ケイジャン料理やガンボといった地元グルメ、街角で繰り広げられる陽気なパレードなど、音楽と食の両面でニューオーリンズらしい魅力を存分に味わうことができます。

「サウス・バイ・サウスウエスト(SXSW)」音楽・映画・テクノロジーが融合するイノベーションの祭典

会場:オースティン市内各所／テキサス州オースティン

テキサス州オースティンでは、来年 3 月 12 日から 18 日まで、音楽・映画・テクノロジー・ビジネスが交差するカルチャーイベント「サウス・バイ・サウスウエスト(SXSW)」が、市内各所を会場に開催されます。世界中から起業家、クリエイター、アーティストが集まり、講演や展示、映画上映、ライブパフォーマンスなど多彩なプログラムが繰り広げられます。カルチャーとイノベーションの最前線に触れられるイベントとして、毎年さまざまな業界から高い注目を集めています。

「スポレート・フェスティバル USA」南部歴史と芸術が交錯する総合芸術祭

会場:ドック・ストリート・シアターほか(サウスカロライナ州チャールストン)

サウスカロライナ州チャールストンでは来年 5 月 22 日～6 月 7 日にかけて、「スポレート・フェスティバル USA」が開催されます。歴史的建造物が残る市内各所を会場に、オペラ、演劇、ダ

ンスが融合した多彩なパフォーマンスが繰り広げられ、街全体が芸術の舞台となります。

「カレ・オチョ・ミュージック・フェスティバル」ラテン音楽と文化が融合する春の祝祭

会場:リトル・ハバナ地区、マイアミ市内ほか(フロリダ州マイアミ)

サウスカロライナ州チャールストンでは来年5月22日から6月7日まで、歴史ある市街地を舞台に「スポレート・フェスティバル USA」が開催されます。オペラ、演劇、ダンスなど多彩なパフォーマンスが、ドック・ストリート・シアターをはじめとする歴史的建造物を会場に繰り広げられ、街全体が芸術の祭典一色となります。文化と歴史が息づくチャールストンの魅力を、芸術を通して堪能できる春の恒例イベントです。

このほかアメリカ各地では、年間を通じて多彩な音楽フェスティバルが数多く開催されています。たとえば、カリフォルニア州インディオで毎年春に開催される世界的な音楽&アートの祭典「コーチェラ・バレー・ミュージック&アーツ・フェスティバル」や、シカゴで夏の風物詩として親しまれている「ロラパルーザ」など、伝説的なロックフェスティバルが世界中から音楽ファンを惹きつけています。

音楽都市として名高いテネシー州ナッシュビルでは、「グランド・オール・オープリー」をはじめ、ブロードウェイ沿いの賑やかなホンキートンクバーに至るまで、日夜カントリーミュージックの音色が響きわたります。メンフィスでは、ビール・ストリートでのブルースの生演奏や、「グレースランド」でのエルヴィス・プレスリーへのオマージュを通じて、音楽レジェンドの足跡をたどることができます。

また、「モータウンの街」として知られるミシガン州デトロイトでは、「モータウン・ミュージアム」を訪れ、スティーヴィー・ワンダー、ダイアナ・ロス、マーヴィン・ゲイらを輩出した音楽の歴史に触れることができます。

このようにアメリカ各地では一年を通じて、多彩なアート&カルチャーイベントが開催されており、訪れるたびに新たな魅力と出会うことができます。アメリカでのアート&カルチャー体験に関するイベントや観光施設の情報、旅行の計画に役立つ最新情報は、「AmericaTheBeautiful.com」にて公開予定です。

「世界水準のミュージアムから、活気あふれるフェスティバル、色彩豊かなストリートアートまで、アメリカの文化の多様性と奥深さは他に類を見ないものです。こうしたひとつひとつの体験が、創造性や地域コミュニティ、そして歴史の物語を語りかけてくれます。全米各地で新たなミュージアムや展覧会、文化イベントが続々と登場しており、訪れるたびに新たな発見が待っています。旅行者の皆さまには、アメリカという国の精神と、より深くつながる旅を楽しんでいただける機会となるでしょう。」(ブランド USA のプレジデント兼最高経営責任者(CEO)、フレッド・ディクソンのコメント)

■ ブランド USA について

アメリカ合衆国の公式観光促進団体であるブランド USA は、アメリカを世界有数の旅行 destinations として訴求し、国外から旅行者に対しアメリカの観光施策を伝達することをその目的として、旅行促進法に基づき、アメリカ初の半官半民の事業体として設立されました。ブランド USA は、業界や政府機関との連携を通じて、データに基づいたキャンペーンや一貫したメッセージの発信を行い、アメリカの最新情報やビザ、入国関連の情報を含む旅行者向けのリソースを提供しています。ブランド USA は、設立以来の 12 年間にわたり、旅行業界のパートナーと連携して実施してきたマーケティング施策により、訪米旅行者を 1,030 万人増加、約 350 億ドル(約 5 兆 2,500 億円 1 ドル=150 円換算レートにて計算)の消費を創出し、その経済効果は累計で 760 億ドル(約 11 兆 4,000 億円)に達し、年間平均で約 4 万件の雇用を支え、100 億ドル(約 1 兆 5,000 億円)の税収を生み出しています。これらの取り組みはすべて、米国納税者の負担なしで実現されており、投資 1 ドルあたり 20 ドル(約 3,000 円)の経済的リターンを生み出しています。

当リリースに関するお問い合わせ先

ブランド USA 日本事務所 (広報担当: 早瀬、水口、野間)

TEL: 03-6261-5385 E-mail: BrandUSAJapan@aviareps.com